

# 41

## ■ノジコも憩う「じよんのび」の里

### 黒姫山 (刈羽・高柳町)

■環境：山地  
 ■対象：一般  
 ■期間：5月中旬～6月中旬

高柳町の適当な所に車を止め、耳を澄ますとノジコの声が聞こえる。それだけでも楽しいが、黒姫山(890m)の登山を終えてから温泉につかって汗を流す欲張りなコース。

#### <車を止めるとノジコのさえずり>

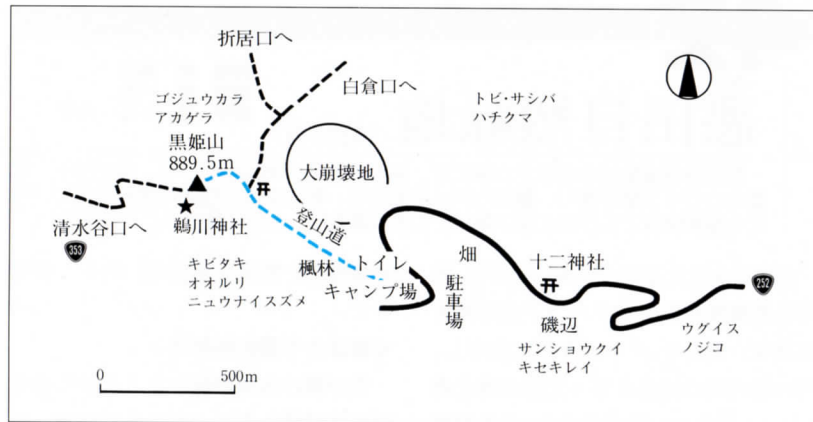
黒姫山(標高889.5m)の登り口は、柏崎市折居口、清水谷口と刈羽郡高柳町の白倉口、磯之辺口がある。中でも頂上まで最短の磯之辺口は、登山道も整備され登り約1時間10分、下り40分と気軽に登ることができ人気がある。探鳥目的であれば、夏鳥が渡ってくる新緑の5月中旬から6月上旬が良い。

磯之辺口から登るには、まず車で岡野町から黒姫キャンプ場に向かう。途中幾重にも曲がりくねった登り道では、

ノジコやウグイスの声が気持ち良い。とにかく高柳町にはノジコが多い。標高の高い磯之辺地区を抜けると、目の前に黒姫山の壮大な大崩壊地が現れる。山頂近くには鶴川神社が小さく見え、そのりょう線にはトビやサシバ、ハチクマの飛ぶ姿を見ることもある。運が良ければイヌワシの姿も見られるかもしれない。車を「新潟県森林浴百選」の木柱標識のある駐車場に止め、ここから徒歩となる。5分ほど登ったところが黒姫キャンプ場だ。ブナの幹の間



黒姫キャンプ場



からは魚沼の山々が遠望でき、ホトトギス、サンショウクイの声があたりに響いている。

キャンプ場の端に登り口があり、ここから細い登山道となる。途中、鬼殺しの水、カエデ林のあたりにはニューウナイスズメを見ることがある。キビタキ、オオルリを聞きながら、さらに登るとやがて鶴川神社に着く。さらに5分ほど登ると、二等三角点のある狭い山頂だ。展望もよい。付近のブナ林から澄んだヒガラの声、アカゲラのドラミング、運が良ければゴジュウカラ、アオバトにも出会うことがある。

下山して車に乗ったら、そのまま「じよんのび村」の温泉に直行するのをお勧めする。きつと疲れもとれるはずだ。

#### <秋から晩秋の黒姫山>

9月中旬から下旬のよく晴れた午前中、上昇気流が上る所にサシバとハ

チクマの渡りが磯之辺周辺の展望のきく所で観察できる。また晩秋の黒姫山は静かだ。落ち葉を踏みしめながら登ると、ウソヤルビタキに会える。

(小林成光)

#### メモ

**交通** 自家用車以外では難しい。

☐ 黒姫キャンプ場の下に駐車場がある。またトイレや炊事場もある。

**探鳥会** 黒姫山にはないが、毎年6月上旬の日曜日に、高柳町門出の鯖石ダム周辺で探鳥会がある。黒姫山山開きは混雑するので要注意。

問い合わせ：高柳町役場

☎0257-41-2233

**道草** 高柳町にきたら「じよんのび村」に寄るとよい。県立子ども自然王国や温泉がある。近くには荻ノ島環状かやぶき集落や国指定文化財貞観園がある。